

整備されたまち

御菅東地区 御菅西地区

1 御蔵北公園

建立されている慰霊モニュメントは、住民自ら、自分たちの資金と手でやろうということが進められたものです。天版に穴をあけ、本地区でお亡くなりになった方（128名）の場所が地図上にイメージできるものとなっています。

焼けただれた電柱 →



■地域の声【御菅西地区】

まちはきれいになりました。これからは人が生活するまちを作っていくことが課題となります。自分たちでできることは自分たちでやろうという雰囲気少しずつ根付いてきています。それを象徴するのが、自治会館の移築や公園づくりでした。

また、被災地同士ということで、台湾や台風被害のあった兵庫県出石町と交流しています。



慰霊モニュメント

2 御蔵南公園

震災で焼けただれた電柱と柵が残されています。これらは、区画整理事業で、元あった場所がわからなくなりましたので、公園のデザインを配慮して、現在の位置で保存するようになりました。



公園名プレートとなった震災後に残ったコンクリートの固まり



盆踊り大会



震災時の火事で焼け残った柵

3 御蔵通5・6・7丁目自治会館

兵庫県香住町にあった明治10年代の建物を、住民とボランティアが中心となって解体移築したもので、地域の方々の親睦を図るため、各種行事に活用されています。普段解放して誰にでも使える施設で、住民だけでなく、大学のゼミ等にも活用されています。



自治会館内部



お餅つき大会

4 コミュニティ道路（西地区）

コミュニティ道路の車止め上部には、自治会館のイメージがデザインされています。



7 みくらすいせん公園

平成7年1月31日、当地区を天皇皇后両陛下がお見舞いになられた際、皇后陛下から手向けられた水仙の花束にちなみ、御菅北公園に「みくらすいせん公園」、御菅南公園に「すがはらすいせん公園」という愛称が付けられました。

「みくらすいせん公園」には、ゾーン毎に季節の移り変わりを学習できるような樹木を植栽しています。災害時に生活用水となる井戸を生かした池、100トンの耐震性防火水槽を配置しています。また、御蔵小学校児童による「希望のモニュメント」を建立しています。

「すがはらすいせん公園」のモニュメントは、震災直後に両陛下にお見舞いいただいたことを記念したもので、ブロンズ製で焼け跡に供えられた水仙を図案としたものです。また、震災前・震災時の町の写真をエッチングプレートにして展示しています。100トンの耐震性防火水槽も備えています。



みくらすいせん公園



すがはらすいせん公園



水仙のモニュメント



地元活動 すいせん栽培



希望のモニュメント



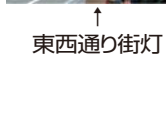
以前の街の様子を写したエッチングプレート

6 コミュニティ道路（東地区）

デザインコンセプトは、東西の通りは暖かく親しみのある通りとし、煉瓦色を基調に街灯車止めに水仙の花の図案を入れています。また、南北の通りは明るくさわやかで、すがすがしい通りとし、明るいグリーンを基調に街灯、車止めに水仙の花の図案を入れています。



東西の通り



東西通り街灯



南北通り街灯



南北の通り

5 味彩館 Sugahara

震災で壊滅的な打撃を受けた菅原市場菅原商店街の商業施設再建ということで、平成12年11月にオープンしました。震災直後、当地が「フーテンの寅さん」第48作のロケ地となったことから、「フーテンの寅さん」の記念碑が設置されています。



「フーテンの寅さん」の記念碑

■地域の声【御菅東地区】

未体験の大地震に地区の住民は何をしたらいいかわからない中で、まちづくり協議会の活動は始まりました。当初は、区画整理に対し、住民は不満だらけでした。まちづくり協議会は、そんな住民の意見をよく聞き、まとめていきました。

区画整理によってまちは生まれ変わりました。昔の近所付き合いが出来なくなったという声もありますが、新しい街の新しい付き合い方があるはずと言う声もあります。